

2026年度第1四半期(2027年3月期) 連結決算説明資料

2026年8月5日
株式会社西島製作所(6363)

Key Topics for Q1

株式取得完了



新日本造機の株式取得が完了。
それに伴い、
今期通期業績を上方修正。
(期初計画の当期利益38億円から71億円に修正。
実質通期利益は52億円)
関連ニュースリリース(2026年7月1日公表)
【PDF/動画】

収益改善

輸出案件の利益率が
大幅改善。
(前年同期比 +10pt)



受注高

第1四半期の受注高は
前年同期比43%増、
期初計画進捗率33%、
受注残は1,208億円。



省エネ・技術

世界最高水準
「スーパーエコポンプ」が
SII省エネ補助金対象に
業界初の認定。



関連ニュースリリース
(2026年8月4日公表):【PDF】
スーパーエコポンプサイト:【リンク】

グローバル貢献

エジプト「ニューデルタ国家
プロジェクト」が本格始動！

関連ニュースリリース
(2026年5月28日公表):【PDF】
関連YouTube:【動画】



中東情勢アップデート

中東事業への影響は
いまだ限定的。
受注は好調だが、
出荷時の船積みにも
多少の影響はあり。



目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

2026年度 第1四半期 連結実績

	2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比
受注高	218億円	313億円	+95億円 +43.6%
売上高	199億円	166億円	-33億円 -16.5%
営業利益	2億円	12億円	+10億円 +500.0%
経常利益	-3億円	11億円	+14億円 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-3億円	14億円	+17億円 -

2026年度 連結業績予想（7/1修正）

	期初計画	業績予想修正	期初計画比
受注高	960億円	1,064億円	+104億円 +10.8%
売上高	955億円	1,039億円	+84億円 +8.8%
営業利益	52億円	57億円	+5億円 +9.6%
経常利益	44億円	48億円	+4億円 +9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	38億円	71億円	+33億円 +86.8%

ポイント

2026年度 第1四半期業績

- **受注**：受注は前年同期比44%増の313億円、期初計画の960億円に対し進捗32.6%と順調。受注残高は1,208億円。
- **売上・営業利益**：中東情勢の影響と官公需の売上減速で、売上は前年同期を下回るが、輸出案件の粗利率の大幅改善(+10pt)、および海外サービス子会社業績の好調により、営業利益は前年同期比10億円改善。
- **経常利益**：直近第1四半期の円安傾向により為替差損が縮小し、経常利益は前年同期比14億円改善。
- **当期利益**：特別利益に投資有価証券売却益を計上したことで、当期利益は前年同期比17億円改善。

2026年度 連結業績予想修正

- **新日本造機**：2026年7月1日、新日本造機株式会社の株式取得完了。下半期に同社の業績の半期分（12月決算のため7～12月分）の連結計上、および第2四半期には負ののれんの計上が見込まれることから、連結業績予想を上方修正。
- **当期利益予想**：期初計画の38億円から33億円増の71億円。
- **実質通期利益**：負ののれんによる一過性の影響を除外した実質通期利益は期初計画から14億円増の52億円。

目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

2026年度 第1四半期 連結決算実績

単位: 億円

	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	
			増減	%
受注高	218	313	+95	+43.6%
売上高	199	166	-33	-16.5%
売上総利益 (売上総利益率)	47 (23.7%)	59 (35.4%)	+12 (+11.7pt)	+25.5%
販管費	45	47	2	+4.4%
営業利益 (営業利益率)	2 (1.1%)	12 (7.1%)	10 (+6.0pt)	+500.0%
営業外損益	-5	-1	4	-
経常利益	-3	11	+14	-
特別損益	-	6	-	-
親会社に帰属する当期純利益	-3	14	+17	-
為替レート*1(1USD)	144.81円	162.39円	17.58円	
為替レート*2(1USD)	144.59円	159.57円	14.98円	

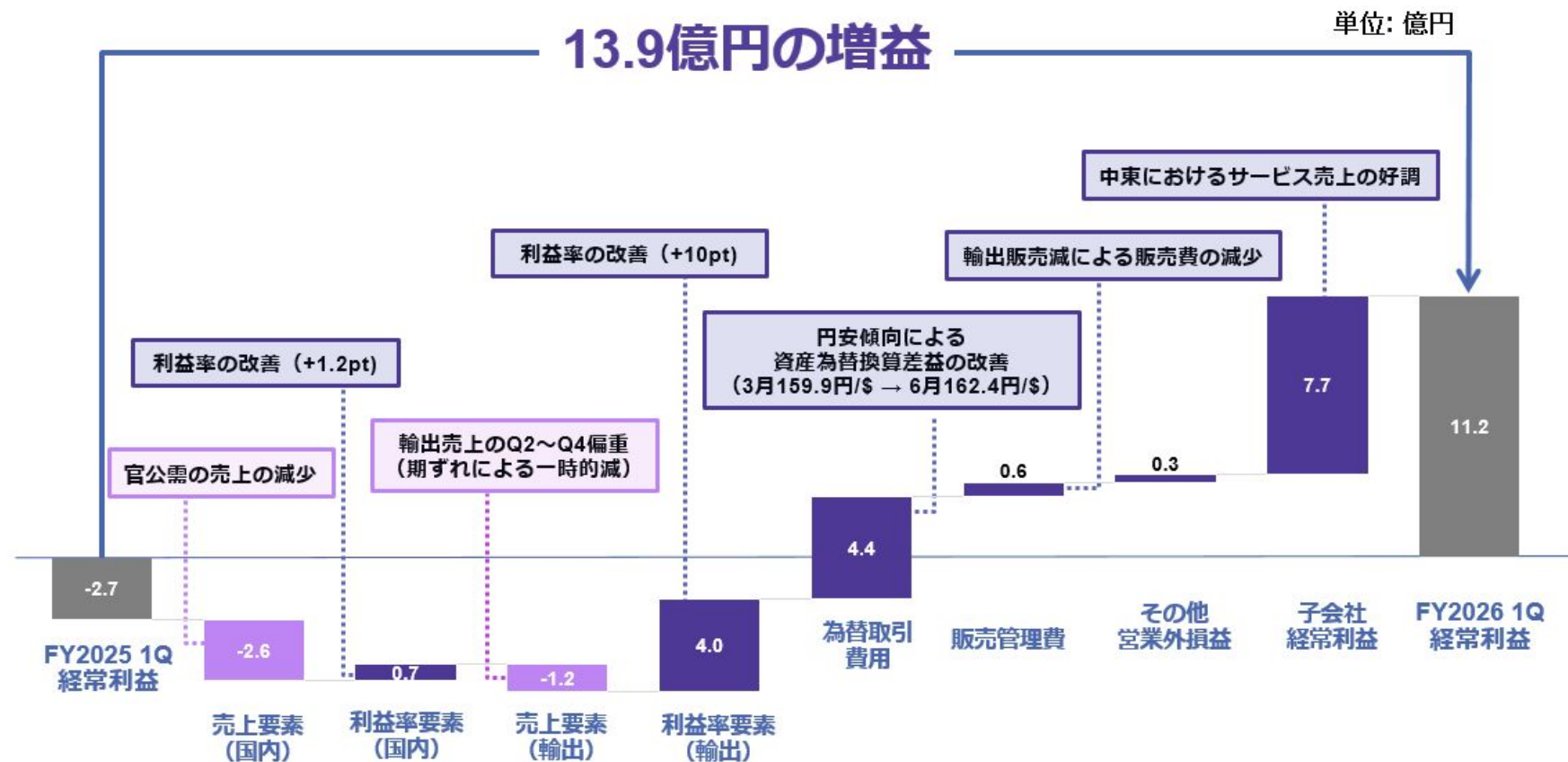
*1為替レートは各四半期における期末レートで表記

*2為替レートは各四半期における期中レートで表記

2026年度 期初計画	進捗率	2026年度 修正予想 (7/1付)	進捗率
960	32.6%	1,064	29.4%
955	17.4%	1,039	16.0%
261 (27.3%)	22.6%	278 (26.8%)	21.2%
209	22.5%	221	21.3%
52 (5.4%)	23.1%	57 (5.5%)	21.1%
-8	-	-9	-
44	25.0%	48	22.9%
5	120.0%	37	16.2%
38	36.8%	71	19.7%
155円		155円	

※ 2026年7月に株式を取得した新日本造機(株)の業績は、
2026年10月(第3四半期)より連結に入ります。
(第1四半期実績には含まれておりません)

経常利益の増減分析



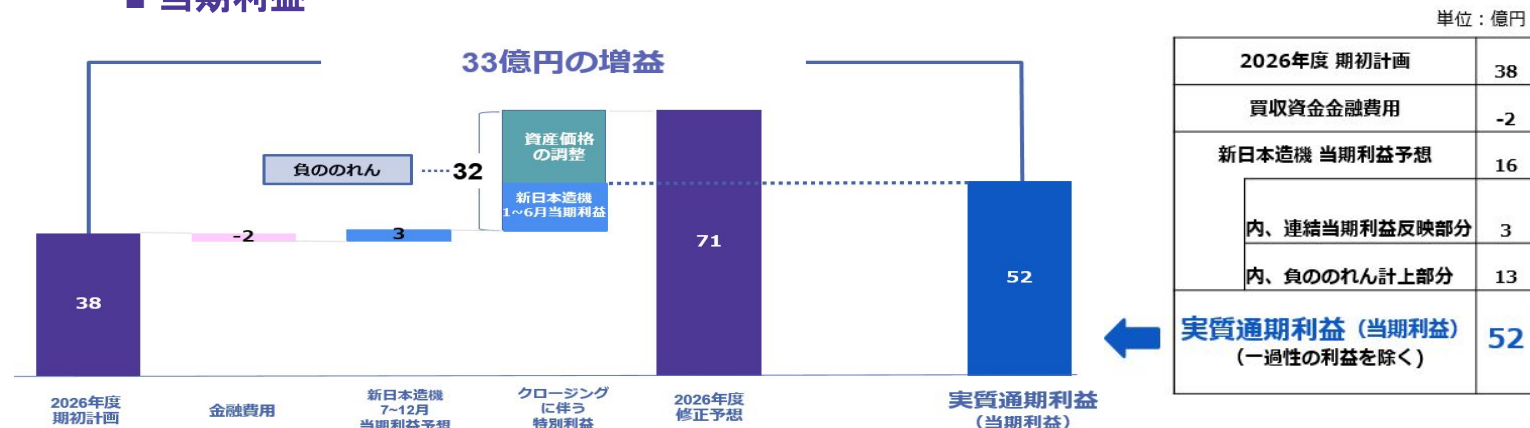
修正通期予想 ～2026年度増益と実質通期利益～

2026年7月1日開示資料簡略版

2026年7月1日の新日本造機株式会社の株式取得完了により、通期業績予想を修正。

当期利益は期初計画の38億円から33億円増の71億円。負ののれんによる一過性の影響を除外した**実質通期利益**は期初計画から14億円増の52億円。→ 詳細は2026年7月1日開示【PDF】/【動画】を参照。

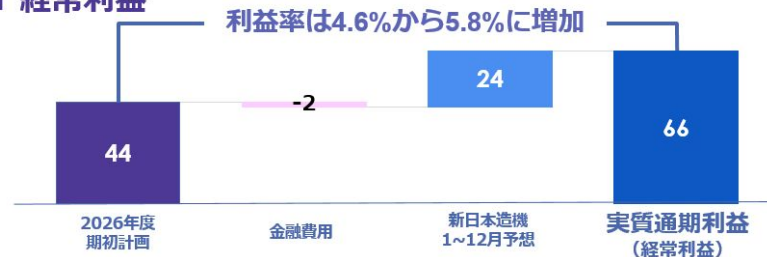
■ 当期利益



■ 営業利益



■ 経常利益



目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

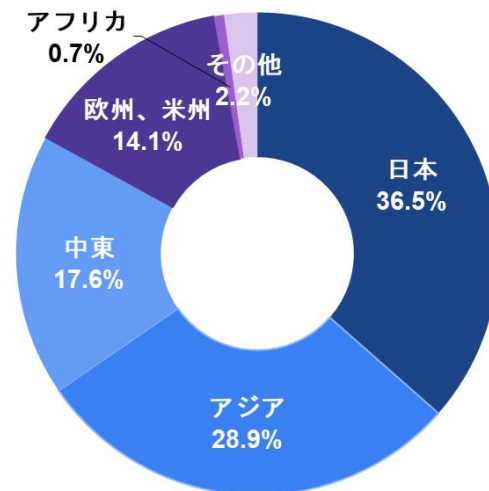
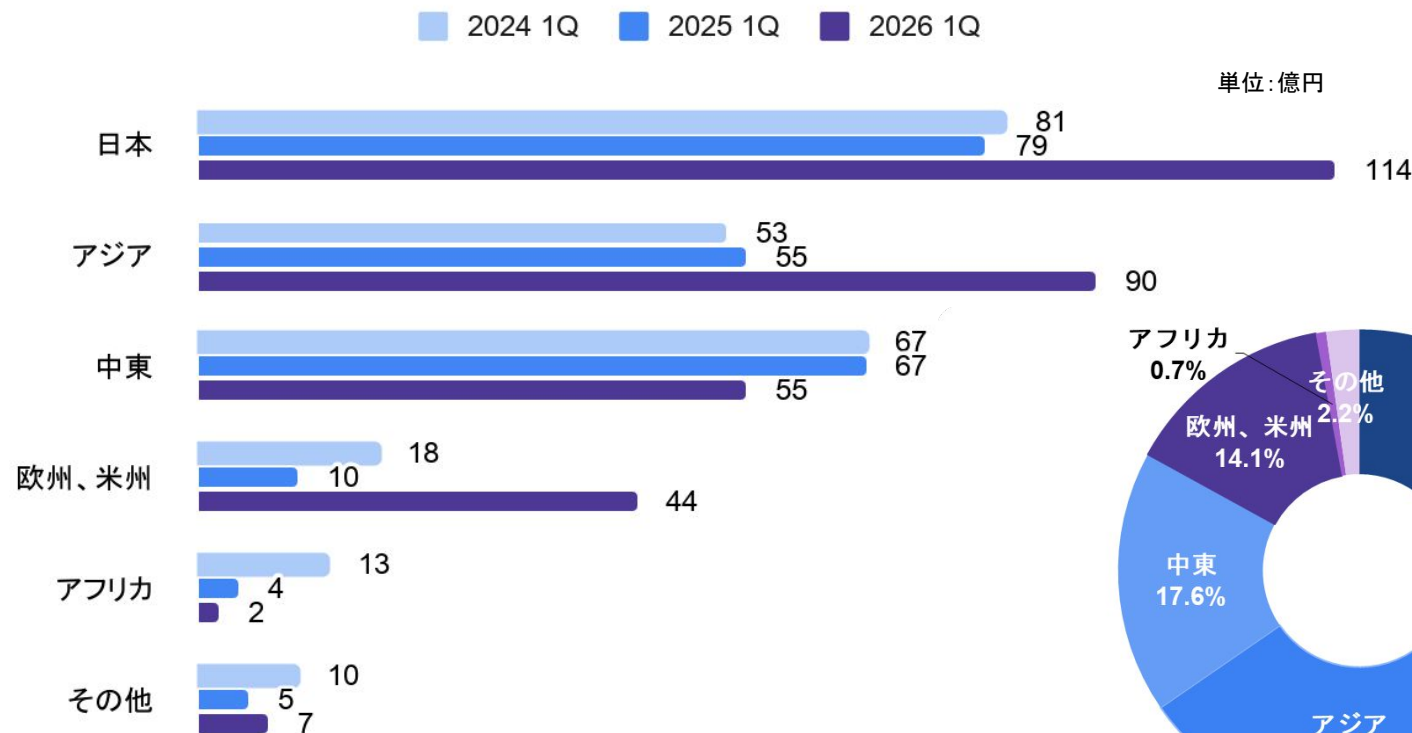
【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

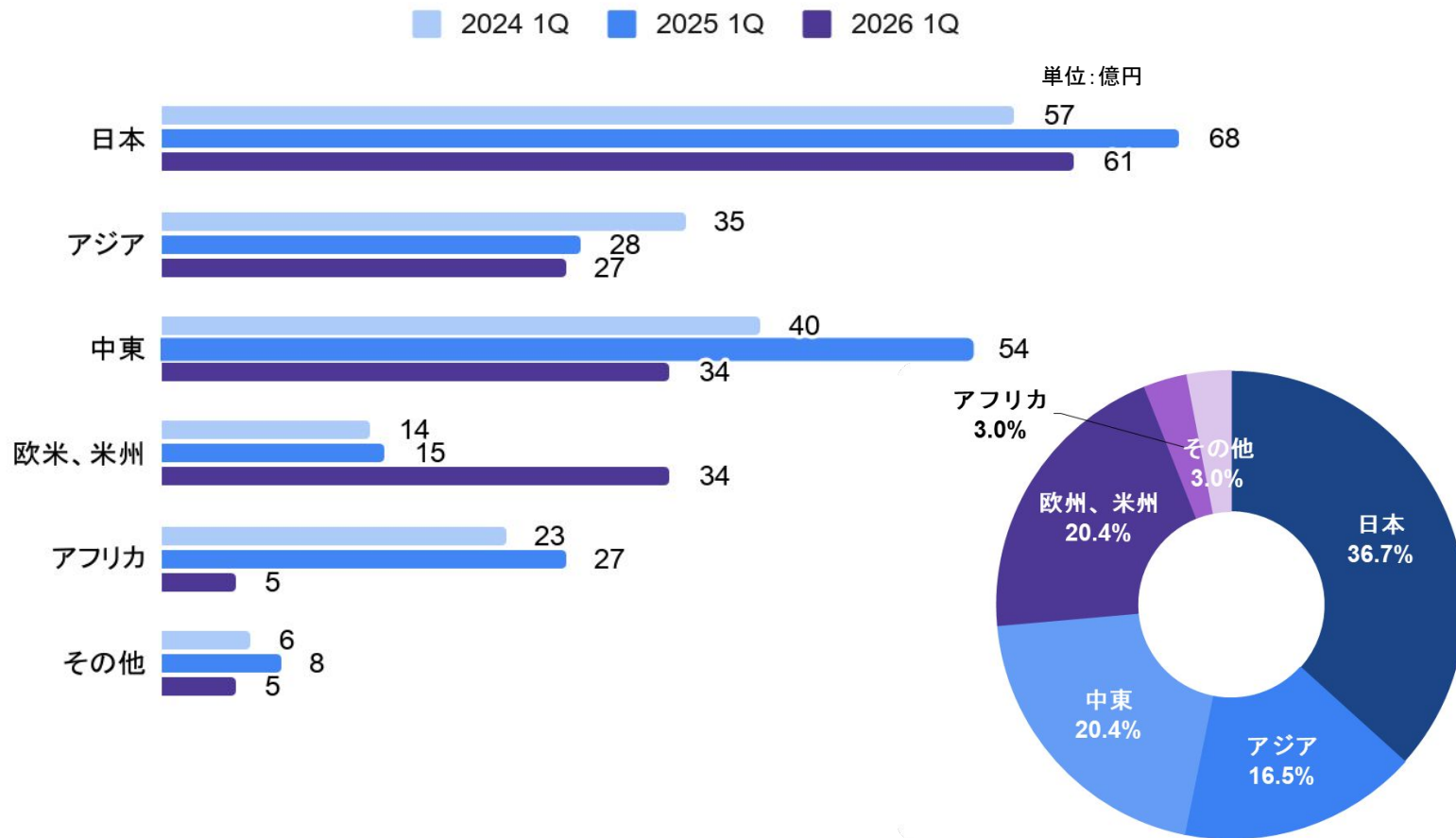
【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

地域別受注高(2024年度1Q～2026年度1Q)



地域別売上高(2024年度1Q～2026年度1Q)



目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

中東情勢アップデート



【事業拠点】

8カ所

(UAE、サウジアラビア、カタール)

【従業員数】

298人

(2026年6月末現在)

【2026年度売上見込み】

218億円

事業への影響



- ・現時点における当社の事業活動への影響は引き続き限定的。
- ・中東向け輸出において船積みの遅延が発生し、一部の売上計上時期がずれ込んだが、当年度の売上高へのリスクは現時点でなし。

事業継続・安全第一

従業員の安全を最優先。海水淡水化プラントなど重要インフラの安定稼働への支援の責務を果たすべく、万全な供給・サービス体制を維持。スタッフは全員無事。高いモチベーションを持って変わらぬサービスを提供。

目次

【1】2026年度 第1四半期決算／連結業績予想修正のポイント

【2】2026年度 第1四半期決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】参考資料

2026年度第1四半期 連結決算実績

単位: 億円

			2025年度1Q実績		2026年度1Q実績		前年同期比			
							金額		%	
受注高	ポンプ	国内		7		11		+4		+57.1%
		海外	82	74		104	+33	+30	+40.2%	+40.5%
	プロジェクト	国内	218	48	313	64	+95	+16	+43.6%	+33.3%
		海外		31		19		-12		-38.7%
	サービス	国内		23		39		+16		+69.6%
		海外		35		76		+41		+117.1%
売上高	ポンプ	国内		10		8		-2		-20.0%
		海外	95	86		46	-41	-40	-43.2%	-46.5%
	プロジェクト	国内	199	36	166	29	-33	-7	-16.6%	-19.4%
		海外		11		9		-2		-18.2%
	サービス	国内		22		24		+2		+9.1%
		海外		35		51		+16		+45.7%
受注残	ポンプ	国内		86		92		+6		+7.0%
		海外	424	338		454	+123	+116	+29.0%	+34.3%
	プロジェクト	国内	1,062	280	1,208	286	+146	+6	+13.7%	+2.1%
		海外		153		168		+15		+9.8%
	サービス	国内		44		57		+13		+29.5%
		海外		161		151		-10		-6.2%

貸借対照表

単位: 億円

	2025年度末	2026年度1Q末	増減	
資産合計	1,202	1,328	+126	+10.5%
流動資産	836	951	+115	+13.7%
現金及び預金	183	369	+186	+101.6%
営業債権	445	341	-104	-23.4%
棚卸資産	180	211	+31	+17.2%
その他流動資産	26	29	+3	+115.0%
固定資産	366	378	+12	+3.2%
負債合計	596	707	+111	+18.6%
営業債務	119	100	-19	-15.9%
有利子負債	222	332	+110	+49.5%
その他負債	255	276	+21	+8.2%
純資産合計	606	621	+15	+2.5%
株主資本	507	512	+5	+1.0%
株主資本以外	100	109	+9	+9.0%

「スーパーエコポンプ」がポンプ業界唯一の補助金対象に認定

スーパーエコポンプ：
世界最高水準の効率、省エネ性能

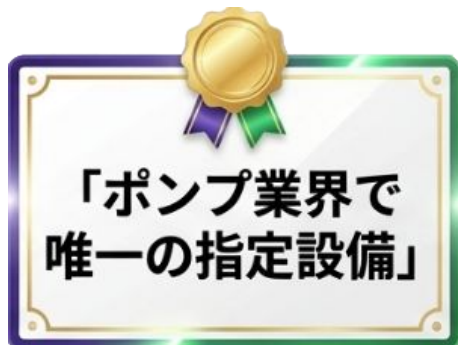


「経済産業大臣賞」受賞

- ・2024年度 省エネ大賞において
最高位「経済産業大臣賞」を受賞。
- ・欧州最高基準クリア: 全型番において、
欧州のポンプ効率規制最高グレードである
「MEI $\geq$ 0.7」を達成。

スーパーエコポンプサイト : [\[リンク\]](#)

関連ニュースリリース : [\[PDF\]](#)



主催: 経済産業省・資源エネルギー庁
事務局: 一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)
補助金名: 省エネ・非化石転換補助金

スーパーエコポンプ補助金対象区分

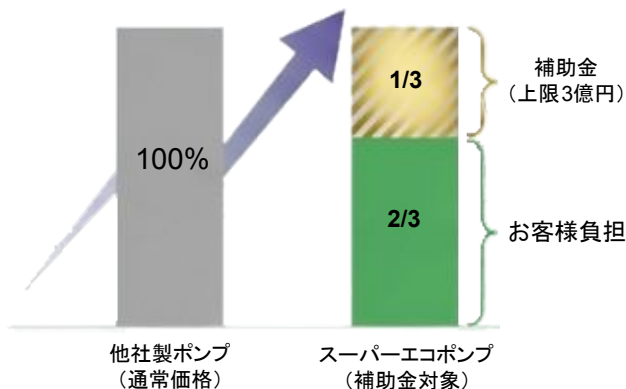
- ・Ⅰ型(工場・事業場型)
- ・Ⅲ型(設備単体型・GX設備単体型)

※Ⅲ型は、インバータの導入なしで
「ポンプ製品単体」での申請が可能に。

営業優位性: 導入ハードルの低下

- ・お客様の設備投資を軽減:
補助金活用により、お客様は設備投資支援を受けられます。

(例)Ⅲ型(設備単体型・GX設備単体型)補助



業界唯一のポンプ製品単体(Ⅲ型)および大規模改修(Ⅰ型)先進枠の補助金対象化を追い風とし、
トリシマのシェア拡大とグリーンビジネスの持続的成長を目指します。

新日本造機株式会社の株式取得

2026年7月1日開示資料

新日本造機株式会社

1951年創業。世界屈指の技術力・ブランド力を持つ

「蒸気タービン」および「プロセスポンプ」のリーディングメーカー。

新日本造機とトリシマの 補完的ポートフォリオ を融合させ、

「社会に欠かせない企業」を目指し、進化を続けます。



1. 事業領域の拡大

世界初「超電導モータ液化水素ポンプ」をはじめ、トリシマは脱炭素社会に向けた水素・アンモニア等の液化ガスポンプの開発が注力分野。

オイル&ガスポンプ市場に強い新日本造機との融合で、脱炭素市場での地位を確立。



脱炭素

2. 販売先のシナジー

蒸気タービンに強みを持つ新日本造機と、発電用ポンプで圧倒的なシェアを持つトリシマの融合により、同一顧客へ回転機械のワンストップサービスを実現。

発電市場向けの競争力を強化。



発電

3. 生産・サービス網の補完

生産能力相互補完のポテンシャル。

新日本造機の世界的に高い競争力と、トリシマが世界各国に保有する営業・サービスネットワークを融合させグローバルな拡販と顧客満足度向上を実現。



つくる力・サービス事業

「グローバル・トッププレイヤー」へ

エジプト最大級の国家プロジェクト「ニューデルタ計画」始動

アフリカ最大級の農地化インフラ事業において、中核パートナーとして持続的成長へ



POINT 01

圧倒的な納入実績と
高い社会的評価



大規模納入

大型立軸斜流ポンプ納入完了

- ・ 約92万ヘクタール（東京都の4倍）の農地灌漑を実現。
- ・ エジプト大統領主宰の始動式典に当社代表が招待され、現地で非常に高い評価を獲得。

関連ニュースリリース：[\[PDF\]](#)／関連YouTube[\[動画\]](#)



POINT 02

安定したストック
収益基盤の確立



新拠点 設立

現地サービスセンターの開設

- ・ 現地に新たなサービスセンターを設立し、長期的な保守・メンテナンス体制を構築。
- ・ 製品納入後のライフサイクル全体で、**持続的かつ高粗利なストック収益**を確立。
- ・ 他社製品へも対応範囲を広げ、増大するサービスニーズを取り込み信頼されるパートナーへ。



POINT 03

巨大な中長期
成長ポテンシャル



約 4 倍

農地面積拡大計画(336万haへ)

- ・ エジプト政府は農地面積を現在の約 4倍へ拡大する方針を発表。
- ・ エジプトの大型インフラプロジェクトにおいて、主要なポンプ販売・サービスパートナーとして、持続的な収益成長に向けた強固な基盤を構築。

インストールベースの拡大 → サービス拠点の設立 → 将来の市場拡大の好循環を確立

トリシマのマテリアリティ(重要課題)

今後も引き続き、トリシマが得意とする分野での課題解決に貢献し、社会に欠かせない企業をめざします

世界の潮流と社会課題

トリシマのマテリアリティ (重要課題)

社会に貢献できる 製品・サービス

CO₂の増加による
地球温暖化

エネルギーの転換

異常気象の増加・
水害の頻発

先進国での
インフラ老朽化

新興国での人口増加、
インフラ需要の拡大

水不足・食料不足

先進国での人口減少・
技術伝承の困難

価値創造の重要課題

1. 脱炭素社会実現に向けた
エネルギー課題への取組み

2. 安全・安心な社会の構築

3. データ・AIの活用による
新しいモノづくりとサービスの構築



基盤となる重要課題

4. 社員活力の最大化
5. ガバナンスの向上
6. トリシマ品質の継続的向上

① スーパーエコポンプによる省エネ推進

② 次世代エネルギー用ポンプの提供

③ 水不足・食料不足を解決する
ポンプの提供

④ 気候変動対策向けポンプによる
減災技術の推進

⑤ データに基づく
スマートメンテナンスの提供

- ・人財育成とDE&Iの推進
- ・コンプライアンス経営の推進
- ・リスクマネジメントの強化
- ・環境経営の推進

めざす姿
社会に欠かせない企業

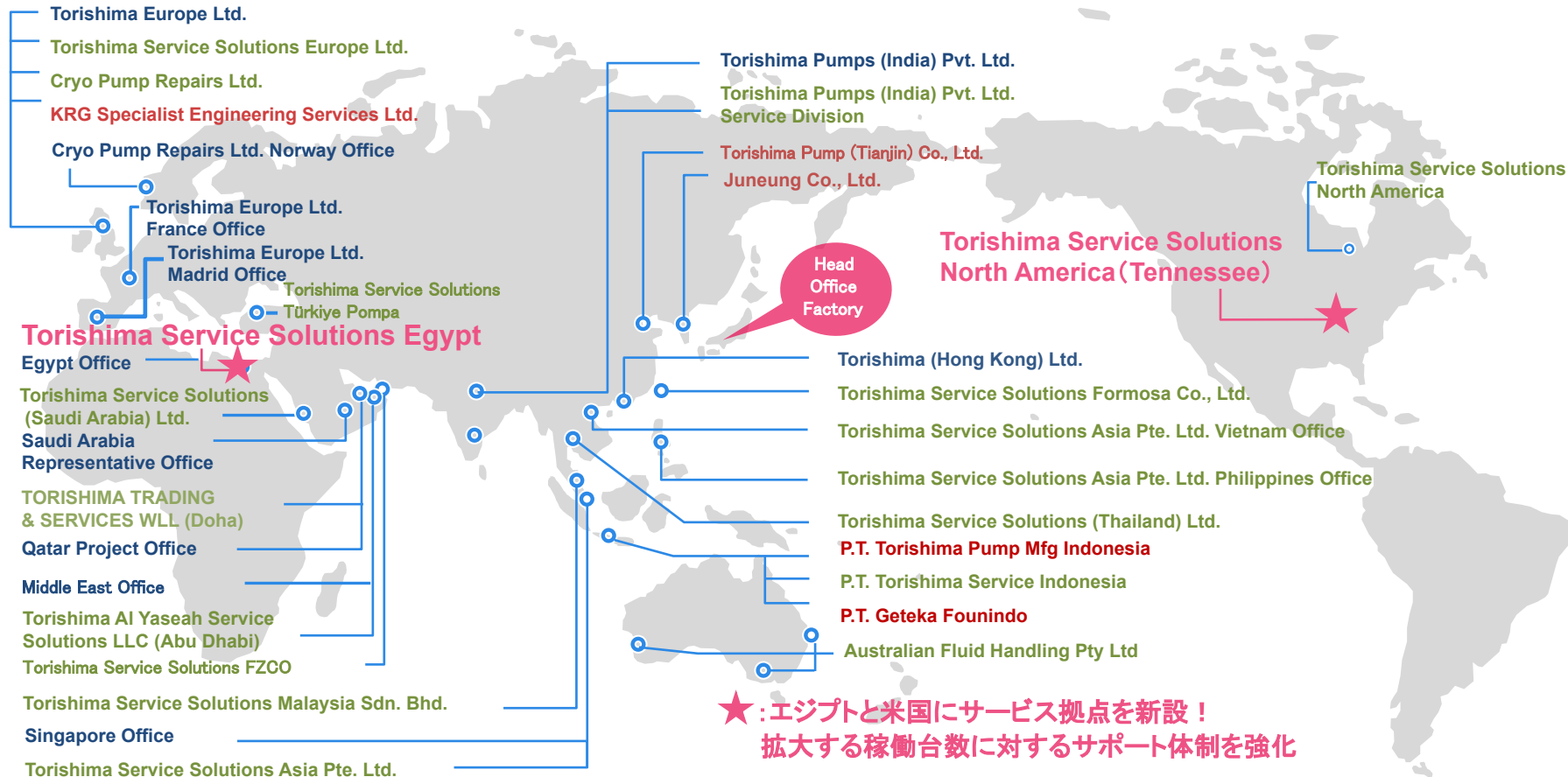
エネルギー課題への取組み

事業分野	事業概況
発電	発電需要好調：発電プラント向けポンプは国内では圧倒的トップシェアを保有。世界的には、AIデータセンター建設ラッシュに伴う電力需要急増を背景に、米国やインドでの発電プラント用ポンプの受注が好調。今後高まる需要に対応するため、2026年度、北米に新しいサービス工場を増設。
省エネルギー	省エネ補助金認定：2026年度、トリシマの「スーパーエコポンプ」が、省エネ設備導入を支援する日本政府の補助金（SII補助金）制度において、ポンプ製品単体として唯一の指定設備に認定。設備投資の最大1/3（要件により最大1/2）を国が補助することで、脱炭素化推進を後押しする制度。 スーパーエコポンプサイト：[リンク]、関連ニュースリリース：[PDF]
脱炭素	超電導モータ液化水素ポンプ：京都大学と「超電導モータ液体水素ポンプ」を共同開発し、2026年1月には川崎重工業より世界初の大流量液化水素ポンプを受注。 液化水素ポンプ開発 YouTube動画：[動画]

安全・安心な社会の構築

事業分野	事業概況
海水淡水化・上水・送配水	海水淡水化向けポンプ：世界でトップシェアを保有する海水淡水化プラント向けポンプの需要は、2025年度は一時的に減速しプロジェクトの受注タイミングが2026年度へと繰り越されたが、需要は依然として堅調。 エジプト巨大国家プロジェクト：2026年5月、92万ヘクタール（東京都の4倍）の砂漠を農地化するというエジプトの巨大国家計画「New Delta Project」の始動式典が大統領主宰のもと開催され、ポンプを供給したトリシマも招待された。今後高まる需要に対応するため、2026年度、エジプトに新しいサービス工場を増設。 関連ニュースリリース：[PDF]／関連YouTube[動画]
雨水排水・下水道	耐水モータ 一体型ポンプ：近年の記録的な豪雨により、排水機場が浸水しポンプが停止する事例が日本国内で多発。この問題への解決策としてトリシマが開発した「耐水モータ 一体型ポンプ」は、ポンプ室が完全に浸水しても排水運転を継続可能。2026年4月には「ジャパン・レジリエンス・アワード」最優秀賞も受賞。 関連サイト:耐水モータ 一体型ポンプサイト [リンク]

グローバルネットワーク



★: エジプトと米国にサービス拠点を新設！
 拡大する稼働台数に対するサポート体制を強化

緑字: サービス拠点 赤字: 生産拠点 青字: セールス拠点 ピンク字: 新拠点

本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 経理本部 IR部
Email : ir-torishima@torishima.co.jp